

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年2月13日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	再生重油炉筒煙管ボイラーから都市ガス貫流ボイラーへの更新プロジェクト
承認番号	KC0447
排出削減事業者名	紅産業株式会社□
排出削減共同実施事業者名	静岡ガス株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	紅産業株式会社 本社工場 (住所：静岡市清水区三保 612 番地の 4)
事業の概要	再生重油炉筒煙管ボイラー1 台を都市ガス貫流ボイラー1 台へ更新する。ボイラーの更新で、燃料使用量を削減し、CO2 排出量を削減する。また、再生重油都市ガスに燃料転換することにより CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2009年度： 209 tCO2 2010~12年度： 419 tCO2 2013年度： 383 tCO2 2014年度： 404 tCO2 2015~16年度： 394 tCO2 2017年度： 197 tCO2 (事業実施期間合計 3,238 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2009年10月1日 終了日 2017年9月30日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～2017年9月30日（第4回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	834tCO2 (2013年4月1日 ～2017年9月30日)
-------	------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 ガス使用量のお知らせ及び現地確認、事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 ガス使用量のお知らせ、現地確認、事業者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 ガス使用量のお知らせ、都市ガス使用量の取りまとめ結果により、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロ

	<p>ジェクト用) Ver.2.9 により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式と照合、計算過程の確認、再計算を実施した結果、排出削減結果が正確であることを確認している。</p> <p>□□</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2013 年 4 月 1 日から 2017年 9月30日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了日は 2017年 9月30日となっているため、クレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。□</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 49.3kL、熱量換算 1,913.0GJであることを確認した。

以上